



会員による国旗、軍艦旗掲揚

暑中お見舞い
申し上げます。
隊友会姫路支部支部長
三枝 副三

世界は小国や
クライナがロシアに
対して民族の誇り
をかけ祖国を守る
覚悟を称賛し支援
していますが、百十
七年前の小国日本
がロシアに勝利して
アジア及び北欧の
国民に勇気を与え
たことを今こそ思い
起こして慰靈顕彰
事業等により、国防
の真の歴史を周知
して「国民の防衛意
識」を高揚して行く
ことが新たな時代の
隊友会の使命だと
確信します。

軍の追悼式は、明治二十九年五月二十七日を記念に「日本海海戦で口シマハルチック艦隊に歴史的な完勝をおさめた明治三十八年（一九〇五年）五月二十七日を記念に第一回名古山海軍墓地追悼式を隊友会主催で挙行しました。」

また、業務隊と隊友会とは大規模災害時ににおける隊員家族の安否確認を行うため支援をいただく時の窓口としてつながりがあり、隊員の後顧の憂いを無くす重要な役目であるため、恒常的につながりを持つ必要があると

隊友会姫路支部会員のみなさま、こんにちは。
日頃から姫路駐屯地に対する各種支援・御協力を賜りありがとうございます。私は一昨年の八月に姫路駐屯地業務隊長として着任し、はや二年が経とうとしています。この二年間は、着任当初から新型コロナウイルスが流行り部外を含めた活動を抑制した中で隊友会のみなさまはじめ関係機関や地域の方々とも直接交流が持てない状態が続いていますが、これまで育まってきた伝統やつながりを保てるよう応援していただいている方々のご尽力に敬服



実施していく隊友会

故郷で勤務できる喜び

姫路駐屯地業務隊長
二等陸佐 角田 政信



発行責任者 三枝 副三
編集責任者 古西 真吾
事務局 姫路市勝原区宮田99-16

白寸鷺詩

私は姫路城の西南にある船場の校区で生まれ、小さい頃からお城を見ながら育ちました。初めてこの駐屯地に来たのは四十五年ぐらい前的小学生の頃だと記憶しています。駐屯地の記念日で大砲の音とその衝撃にびっくりしたり隊員が背負った火炎放射器を発射した火柱が伸びて目的を燃やしたり（遠くで見ていましたが顔が焼けるように熱くテレビで見るイメージとは全然違う）と、純

認識しています。このような世相のなかで、姫路駐屯地に所在する一部隊の指揮官として、また組織の一員として実感しているのは人とのつながりがとても大事で、その雰囲気、すなわち「和」の意識を持つことが大切と思ふ。隊長として要望事項「○」を掲げ、「○」と書いて「和（わ）」、その意識を持たせようとしています。これは職場内だけのものに限らず、OB・地域のみなさまと、親交を深めるにあたつての根本にもなるものも思つてます。ここで私事ですが、姫路駐屯地との

粹に自衛隊はすごいと感じたことを覚えています。また、隊員のところに黄色いの

火砲の大迫力!

答えは持ち合わせていません。たゞ私が言えるのは日本の未来は何よりも子供たちの未来です。子供たちが安心して暮らせる日本、明るい希望を切り拓ける日本になることが重要だと考えます。「行き足のある日本」とするためには私たち自身が未来を考え行動し、少しでも良い方向に向かえるよう、日々努力する必要ではないでしょうか。

か、徐々に改善はしているものの、引くコロナ禍による飲食業界における売上の大幅な減少や、外国人の受け入れ制限による観光産業界の規模の大幅な縮小、急激な円安による輸入コストの高騰における生活必需品値上げ等、経済の落ち込みに大きな影響を与えてています。また、よりも心配されるのは長期化が避けられそうにもないロシアのウクライナ侵攻における世界情勢の不確定化による世界戦争への拡大、人道危機と苦難等、日本及び日本をより巻く環境を考えるに、決して「三き足のある日本」とは呼べないのはと感じます。ではこれから「行き足のある日本」にするには如何にすべきなのでしょうか。非常に難し問題だと思います。私自身も明確に

会員の皆様、暑中お見舞い申しあげます。最近、海上自衛隊の女性艦長をモチーフにした小説を読みました。その中で「行き足」という言葉が出てきます。ご存じの方もおられるかと思いますが、「行き足」とは輸の航進の勢いを表す言葉で「あの艦は行き足がある」とか「後進の行き足に変わった」など、出入港時の報告要領に使われるものです。では、日本の「行き足」はどうでしょ

暑中お見舞い申し上げます。令和4年盛夏 皇紀2682年

ひろがる夢とたしかな未来

播州信用金庫

姫路市南駅前町110番地 TEL.079-281-3939(代)
<http://www.shinkin.co.jp/banshin>

運送のことなら 一誠実 安全 確実一
 **姫路合同貨物自動車株式会社**
代表取締役会長 北野 耕司
代表取締役社長 北野 穩
〒670-0843 姫路市城東町清水6番地
電話 079(222)2891(代) FAX 079(288)4728

5月27日(金)
海軍墓地追悼式
(姫路名古山靈苑)
隊友会姫路支部主催で
挙行した。



国旗、軍艦旗の掲揚から開式



参列者の黙祷



実行委員長(支部長)による追悼のことば

5月20日(金)
掃海艇「なおしま」入港
相生港野瀬岸壁
はりま海上自衛隊友の会主催の
入港歓迎式典に参加した。



会員等による入港の出迎え



第42掃海隊司令の入港歓迎挨拶



乗員代表と入港歓迎参加団体との記念撮影

姫路支部の諸活動

5月8日(日)
宇都隆史参議院議員
(隊友会相談役・空自出身)
姫路講演支援
(姫路市民会館)

姫路市民会館中ホール



講演には多数の市民が参加し聴講した



講演聴講者による激励のエール!

4月23日(土)
第64回定期総会
姫路護國神社白鷺の宮参集殿



総会前に本殿にて参拝後の集合写真



出席者全員で記念写真



支部長より姫路駐屯地池本2尉へ感謝状贈呈

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。ウイルス感染症もかなり収まつてしましましたが、まだまだ気を抜けない状況が続いており十分気を付けていただきたいと思います。(特に高齢者?)さて「姫路支部だより」も発行四十回となり、これまで継続できましたのも偏に会員各位のご協力の賜物と感謝しております。これを機に「姫路支部だより」も「隊友姫路だより」と改称し、今後は心新たに活動状況等を編集し皆様にお伝えしていくと考えております。また、これまでどおり諸活動へのご協力よろしくお願ひいたします。

事務局
吉西姫路支部長
(敬称略)

誠におめでとうございます
表彰 三渡 裕文
感謝状 姫路駐屯地 二等陸尉 池本弥周
永年在籍最年長会員 長野武夫・野村 勇

兵庫県
隊友会会長
(敬称略)

誠におめでとうございます
表彰 村松 啓介・今永 和彦
感謝状 飯尾 義明(特別会員)

叙勲受章者
令和4年度春
(敬称略)

誠におめでとうございます
瑞宝双光章 山内 知己
瑞宝单光章 井上 幸晴

暑中お見舞い申し上げます。令和4年盛夏 皇紀2682年



広告募集中!

兵庫県隊友会姫路支部事務局
TEL・FAX 079-272-2228
E-mail taiyu_himeji@yahoo.co.jp

はりま海上自衛隊友の会
会長 橋崎 良治
JMSDF 事務局 姫路市立石町2丁目109 TEL.079-239-2321

社会福祉法人
白鳥会 デイサービスセンター あおやま
「皆さまの笑顔が私たちの幸せ」
施設運営や介護、様々なサービスを提供いたします。
TEL 079-266-1168 特設あおやま
白鳥会動画

スポーツクラブ21みつ
梅の香卓球クラブ
Umenoka table tennis club
老若男女大歓迎! 専属指導員による優しい指導
〒671-1301 たつの市御津町黒崎1730番地 たつの市立御津体育館
会長 永野 和子 事務局担当:古西 ☎ 090-4655-0665

“心のこもった仕事をする会社”を目指しています
株式会社 新宮運送
679-4343 兵庫県たつの市新宮町大屋668-12
TEL0791-75-1212 FAX0791-75-0929

防衛省の職員(退職者含む)・家族を支えます
弘済企業株式会社(姫路保険出張所)
※ 防衛省職員・家族団体傷害保険
各種特約:総合賄償型・親介護賄償型・長期障害所得補償保険
※ 防衛省共済組合団体取扱いがん保険
(アフラックのがん保険)
※ その他の損害保険
お問い合わせ先:姫路及び青野原駐屯地内 保健室
弘済企業(株) 保険常駐員:久保清和
TEL:080-5895-9712